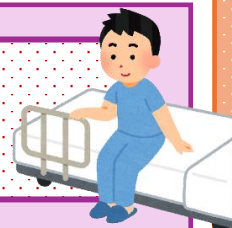




術後早期離床の重要性について



【外科 阿部担当部長】

私は当院外科における消化器の手術治療を主に担当しています。腹腔内の消化器(胃、小腸、大腸、肝臓、膵臓、胆嚢など)と言われる臓器の手術では、腹腔鏡手術にしる、開腹手術にしる、腹壁を切開・貫通させて腹腔内に到達し腹腔内の臓器の手術を行います。

患者さんは術後麻酔から覚めると、この創部に疼痛を感じるようになります。当院では麻酔科の専門の医師が麻酔を担当しており、腹部の創部が相応に大きくなる手術時には術後の創部痛を軽減させる目的で、安全性に配慮し可能と判断された患者さんには硬膜外カテーテルを留置してもらっています。術後そのカテーテルから鎮痛剤を硬膜外腔(脊髄を包んでいる硬膜の外側にある腔)に持続的に注入することにより、患者さんが麻酔から覚めた後の創部痛軽減を図ることが目的です。様々な理由により硬膜外カテーテルが留置できない場合でも、腹壁に神経ブロック注射をしたり、術後点滴や座薬、内服可能であれば内服薬などで鎮痛剤を投与することにより、同様に創部痛の軽減を図ります。



術後の創部の痛みが軽減することによる患者さんの“メリット”には

どのようなものがあるのでしょうか？

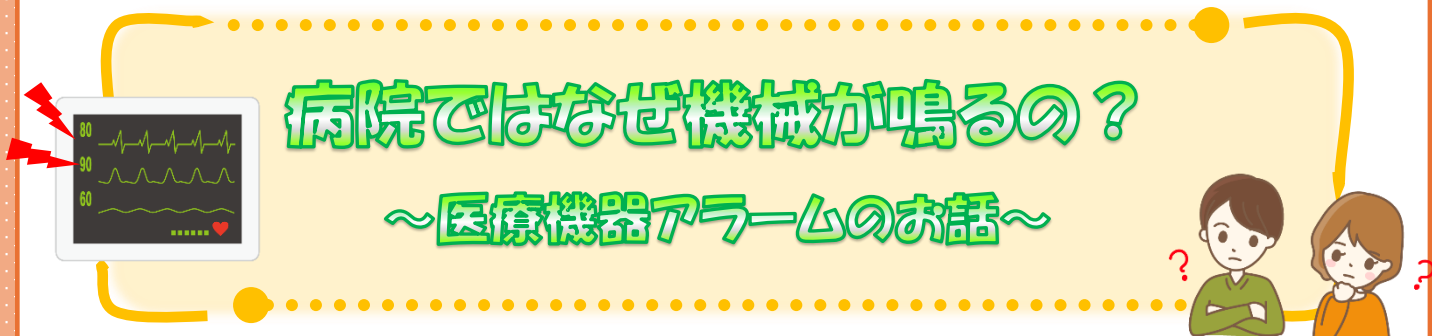
もちろん痛みが軽減することにより患者さんの精神的なつらさを和らげる効果があります。そのうえで「痛みが楽」であることは早期離床、つまり早くベッドから離れられるようになることへの大きな助けになります。

その結果、長期間ベッド上で臥床状態になることによるデメリット、具体的には気道に痰がたまりやすくなり肺炎や無気肺(痰詰まり)を起こす危険性、下肢の筋肉が動かずエコノミークラス症候群(肺塞栓)を起こす危険性、腸の動きが悪く癒着が起きやすくなることによる腸閉塞の危険性、筋力低下や関節の拘縮による活動性低下の危険性などを回避できる可能性が高まります。

もちろん術後安静が望まれる病状の患者さんもあるため、一概に型にはめることはできませんが、「なんでこんなに傷が痛いのに早く動くように言われるのだろう？」と疑問に思われる患者さんもあると思います。それは、より良い術後の回復を目的としたものだとご理解ください。

われわれ医療従事者と患者さんがともに安全に手術治療を乗り越えるという同じ目標を共有することで、手術治療の合併症リスクの低減を図ることができると考えています。





病院を受診したときや病室を訪れたとき、「ピッピッ」という機械の音を耳にしたことはありませんか。病院ではさまざまな医療機器が使われており、その音には患者さんの安全を守る大切な役割があります。点滴の終了やチューブの折れ曲がり、センサーの外れ、心拍数や血圧の変化など、機器は状態の変化をアラームで知らせています。これは「危険」を示すだけでなく、スタッフに確認や対応が必要だと伝える重要な情報です。音のほかに画面表示やランプの色でも状態を示し、気づきやすく工夫されています。



さらに、アラーム音には国際的な基準があり、緊急度に応じて鳴り方が異なるよう設計されています。命に関わる緊急度の高いアラームと、注意や確認を促すアラームでは鳴り方が異なり、音の違いから状況の深刻さが伝わる仕組みです。医療スタッフは音や表示から状況を判断し、必要な対応を行っています。

臨床工学技士は、こうした医療機器が正しく安全に使用できるよう点検や保守管理を行い、安心して治療を受けられる環境を支えています。病院で耳にする音には、一つひとつ患者さんの安全を守るための大切な意味があるのです。

【臨床工学室 臨床工学技士】



予約
不要

骨コツけんしんのご案内

～手軽にあなたの骨密度調べませんか？～

受付時間・
場所

《受付時間》 月曜日～金曜日(休診日除く)10:00～16:00
《受付場所》 JR 仙台病院 1階 総合受付



検査の
ながれ

1. 予約は不要です。総合受付までお越しください。
2. 受付時に「骨コツけんしん申込書」を記入していただきます。
3. 会計窓口で検査料金をお支払いください。
4. 検査実施(約 15 分かかります)
5. 検査結果は当日お渡しします。(検査終了後 15 分ほどでお渡しします。)

料 金
2,200 円(税込)

ご注意

- ・検査日より 1 週間以内に造影 CT 検査・バリウム検査、核医学検査を受けられた方は検査を受けられません。
- ・腰椎・左右股関節に体内金属がある場合、その部位の検査(測定)はできません。
- ・骨コツけんしんは医師による診断・治療を目的とするものではありません。
- ・検査結果に不安を感じた場合は、お早めに医療機関での受診をおすすめいたします。

※掲載の内容は、2026 年 9 月現在の情報です。